

2021年 市民を守る対策を盛り込んだ予算が成立

安全安心のまちづくり

- ◆土地開発公社「第3次経営健全化計画」最終年にあたり約12億円の借金を解消
- ◆新庁舎建設事業 現庁舎の解体工事と新庁舎建設工事 完成2023年
- ◆Net119緊急通報システム（障害がある方の通報を可能にするシステム）の整備
- ◆高規格救急車を1台増やして4台体制に
- ◆洪水ハザードマップを県の被害想定変更に伴い改定し、想定浸水深などの情報を追加
- ◆防災行政無線の斉情報伝達サービス 希望者に放送内容をメール・電話・ファックス等で提供



新たな機能が期待される防災行政無線

みんなにわたからまなく

- ◆手話言語条例リーフレットを作成し市民に周知
- ◆レスパイトケア事業補助金 医学的ケアが必要な心身障がい児を受け入れた施設に補助
- ◆子ども医療費の入院分を2022年10月から18歳まで拡充
- ◆第3地域包括支援センターを塚越2丁目に開設
- ◆子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待などの相談体制を強化
- ◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金の対象拡大（対象家賃の上限を6万円から8万円に引き上げ）
- ◆民間留守家庭児童指導室を北町に増設
- ◆保育・子育てコンシェルジュを2名に増員し待機児童解消をめざす
- ◆新生児聴覚スクリーニング検査費助成 聴覚障害の早期発見・早期療育を目的に検査費の一部を助成
- ◆35人程度学級 市内小学校4学級で実施
- ◆スクールサポートスタッフ 感染防止など増加した事務に対応するため各小中学校に1名を配置
- ◆英語力の向上（中・2・3年生を対象とするGTEC受験等を委託）

快適でせむじむらまなく

- ◆塚越商店街防犯カメラ入替え
- ◆中心市街地活性化基本計画の期間を1年延長と新プラン策定委託
- ◆道路・公園照明灯 リース方式で1270基をLED化
- ◆塚越陸橋跨線部の改修・耐震補強、蔵跨線人道橋の耐震診断、市内全59
- ◆橋について5年に1度の橋りょう点検を実施
- ◆市民公園大型複合遊具の更新工事
- ◆住宅リフォーム助成制度（工事費5%、上限10万円助成）
- ◆多文化共生指針の策定（在住外国人をまちづくりのパートナーに）



更新される市民公園の大型複合遊具



第3地域包括支援センター(塚越2丁目)

コロナ危機から市民を守る

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 高齢者の接種は5月から。はじめに施設入所者、以降については85歳以上、75〜84歳、65〜74歳と高齢者階層から順次予約を受け付け。
- ◆接種方法は、身近な医療機関（16か所）における個別接種（平日等）に加え、日曜日と木曜日に、保健センターを会場に集団接種を予定。問い合わせや予約はコールセンター05

「コロナ危機にこそ」あったか市政の真価を發揮 頼高市長の施政方針

頼高市長は、施政方針で、「コロナの影響で市民の皆さんが厳しい状況にある中だからこそ、『あったか市政』の真価を發揮する時」との見解を表明。2021年度は、「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマにまちづくりを推進していくと

表明しました。

また、「コロナ緊急対策第5弾」や「3つの重点事業と三大プロジェクト」について詳細に説明し、「市民の皆さんとともに、この難局を克服し、廠の未来への飛躍に繋げていく」と決意を表明しました。

「負担増」の県国保運営方針は見直しを

埼玉県の第2期国民健康保険運営方針（期間は3年間）が決定。市町村による市民負担軽減のための繰入金金を2024年までに解消するなど、事実上、コロナ危機に苦しむ市民・自営業者の負担増につながる内容です。今後、国の財政支援強化を求め、市民の負担を引き下げる運動がますます重要になってきます。



悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼